

予算常任委員会

12月補正予算の 主要内容を ご紹介します



■外国人観光客

ふるさと納税ふるさと便事業費	812万円
ふるさと納税寄付金の増額見込みによる返礼品等関係費の追加。	
ふるさと仙北応援基金積立金	1,400万円
ふるさと納税寄付金の増額見込みによる基金積立の追加。	
障害者自立支援給付費	786万円
自立支援医療費及び障害者医療費に係る給付費の追加。	
生活保護費	9,766万円
医療扶助費等の追加。	
インバウンド誘客促進事業費(地方創生先行型)	1,548万円
外国人観光客の誘客促進事業。	
一般管理費	540万円
小・中学校保管薬品に係る処分費等。	
温泉事業費	1億円
新水沢源泉温泉管新設工事。	

議論のポイント ～本会議補正予算質疑から～

インバウンド誘客促進事業費(地方創生先行型)について

質問 県内外の自治体で同様の事業採択はあったか。ムスリム(イスラム教徒)を対象とした理由は。

答弁 全国から観光分野での交付金申請は80億円で、採択は44億円であった。本市は980万5千円の定額を認められた。ムスリムの方は食事・礼拝等独自の戒律があり、来て頂く環境を整える為である。

質問 市では数年前TIC^{*}があったが、今は観光の専門的な出先がなくなった。反省を踏まえて次へ向かうのか。窓口はどこで、誘客目標は。

答弁 県と市が共同してTIC^{*}を設置し、成功・失敗事例があった。今はそれを観光連盟・観光協会が引き継いだ。

農山村体験デザイン室から申込みがあり、窓口の観光課、観光連盟・協会とも連携を図りながら目標を達成していきたい。

質問 1月から3月まで500名の外国人客増加、旅行メニューの開発件数4件、利用数

○反対討論

外から来た方は、仙北市だけでなく周辺の県・市へも流れる。市が直接行うのでなく、観光連盟・協会が県と協働してやれる部分がある。今後5年間この事業を続けるのであれば、一般財源をつぎ込む効果が疑問である。

採決

賛成多数により
補正予算案は
可決された。